

1. とうもろこしのシカゴ定期は、3月には370セント/ブッシェル前後で推移していたが、3月29日に米国農務省が発表した作付意向調査で作付面積と四半期在庫が予想を上回ったことから350セント/ブッシェル台まで値下がりした。その後、潤沢な在庫状況から弱含みな展開が続いたが、米国産地での降雨が続く、作付進捗が大幅に遅れたことから急騰し、現在は450セント/ブッシェル前後となっている。
2. 大豆粕のシカゴ定期は、3月には340ドル/トン前後で推移していたが、米中間の貿易摩擦などにより、米国からの大豆輸出が低調に推移していることから320ドル/トン前後まで値下がりした。その後、米国産地の降雨による作付け遅れ懸念から上昇し、現在は350ドル/トン前後となっている。
3. 米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、2月には40ドル/トン前後で推移していたが、中国向けの石炭や南米産大豆の輸送需要が増加したこと、原油相場が堅調に推移していることから上昇し、現在は45ドル/トン前後で推移している。
4. 外国為替は、3月以降、好調な米国経済を背景として111円前後で推移していたが、5月に入りランプ大統領が中国に対し追加関税を課すと表明したことにより円高が進み、現在は108円前後で推移している。

